

世界大会パンフレットを活用しよう

被爆者が新しい国際署名にかけの思いを語り、あらためてヒロシマ・ナガサキとは何かを問い、核兵器の禁止・廃絶へ、世界の動きや「核の傘」に固執する政府の在り方など、核と平和をめぐる学習を進めるテキストです。署名運動には必携です。

世界の中で強まる非人道的な兵器・核兵器禁止の声を、国連総会での討論、禁止の国連作業部会など紹介しています。

「戦争しない国日本、核兵器のない世界に貢献する日本を」では戦争法廃止と立憲主義回復へ国政の流れを変える、戦後始まって以来の歴史的たたかいと平和と民主主義、非核平和への展望を扱っています。「原発のない安全な暮らし」では福島いま、自然エネルギーへの転換の道の特集しています。



頒価 310円装丁 B5
(36ページ)フルカラー

被爆者が訴える新しい「核兵器廃絶国際署名」と世界大会派遣募金をとりきつつ、原水爆禁止2016年世界大会・広島代表派遣を急ごう

2016年世界大会は、被爆者のみなさんが「核兵器と人類は共存できない」「ふたたび被爆者をつくらせない」とのねがいを実現すべく、核兵器禁止条約の交渉開始をすべての国の政府に求める「新しい国際署名」を全世界の人びとによびかける中で開かれます。

被爆者のみなさんのねばり強いとりくみがあって、非人道的な核兵器は国際法で禁止し、廃絶すべきだという流れが強まっています。国連総会で、核兵器禁止条約に賛同する決議には、国連加盟国の7割を超える国々が賛同しています。

オバマ米大統領が、広島を訪問するに至ったのは、「核兵器のない世界へ」の流れを核保有国といえども無視できないからです。

来たる世界大会は、この流れをさらに強め、市民社会や各国政府、国際機関などあらゆる人びとの共同を発展させる重要な機会です。

大会は、国政の流れを変える国民的に大きく広がった運動と連帯します。

世界大会へ草の根からの一人ひとりの思いを結集し多くの代表を送りだし、核兵器廃絶の転機をつくり、平和で公正な未来の扉を開く歴史的な大会として成功させましょう。

広島大会参加計画

- ◆ 出発日:8月4日(木) 午前7時 貸し切りバス 長崎「大村ポート場行き駐車場」前出発
途中諫早～大村～東彼を經由して広島へ
- ◆ 帰着:8月6日(土) 午後7時30分ごろ長崎着予定
※詳しくは下記県原水協まで連絡ください。



国民平和大行進は7月5日、8日間をつないで、佐賀県へ引き継ぐ

6月28日午後、時折強い雨が降り、雷鳴が聞こえる中、長崎平和公園を出発した国民平和大行進は、最終日7月5日、45名の参加で県境まで行進。佐賀県へ引き継ぎました。集会では長崎実行委員会の東よねこさんが「私たちの一步一步が長いようだが核兵器のない世界への道を実際に刻む。広島へはまだ遠い道のり、体調には気を配って広島まで歩き通し、私たちの思いもしっかり届けてほしい」と挨拶しました。国民平和大行進通し行進者、長崎→広島コースの五十嵐成臣(72歳) 竹田昭彦さん(75歳) 国際青年ルーに韓国から参加した、イ・ジンさんとキム・ジョンゴンさん、初めて県内通し行進に挑戦した年金組合の吉居博文さん、そして新婦人の山口さんが県内を通し行進しました。6名の通し行進者は初。

